



じゃおクラブ第 32 回通常総会議案書

日 時：2023 年 5 月 21 日（日）13：00～14：30

場 所：生活クラブ生協 オルタナティブ生活館 オルタリアン会議室

総会次第

1. 開会
2. 議長選出
3. 議事録署名人選出
4. 書記任命
5. 代表挨拶
6. 議事審議
 - 第 1 号議案 2022 年度活動報告
 - 第 2 号議案 2022 年度決算報告および監査報告
 - 第 3 号議案 2023 年度活動方針および活動計画
 - 第 4 号議案 2023 年度予算案
 - 第 5 号議案 新規会員入会支援策と実施に伴う会則改訂
 - 第 6 号議案 2023 年度役員選出案
7. 新・旧役員挨拶
8. 閉会

はじめに

じゃおクラブ代表 大澤 輝之

じゃおクラブ第 32 回通常総会議案書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

通常総会は、コロナ禍対応のため、2020 年から 2022 年の 3 年間、つまり第 29 回から第 31 回まで皆様が会場に集まって対面で開催することを自粛しました。第 29 回は議案書をお送りし、採決は書面によりました。記念すべき第 30 回はオンラインによる議案の説明会、第 31 回は対面による通常総会を目指しましたが、依然コロナ禍の影響で参加希望者が少なくオンラインでの開催を余儀なくされました。

通常総会は、各地域の会員が交流できる数少ない機会です。その意味でも、この 3 年間はその貴重なチャンスを失ったことを大変残念に感じております。

コロナ禍は第 8 波まで流行のピークを迎えましたが、様々な対策やウイズコロナ精神の浸透で、徐々に収まっている現状です。(この原稿を書いている時点では)

人々の日常生活も、集団になる場所でのマスク着用や、帰宅時のうがいや手洗いなどが習慣になり、ほとんどコロナ禍前のそれに戻りつつあると感じます。スポーツやイベントの賑わいや観光客も増加してきました。政府からも緩和された指針が示されました。

前置きが長くなりましたが、今年の通常総会をどのようにするか運営委員会で検討し、世の中の実情なども勘案して、コロナ禍前と同様に「オルタナティブ生活館」において開催し、その後の懇親会にて旧交を温めるように企画しました。

会員の皆様におかれては、多数ご参加いただけるようお願いいたします。もちろん中には「石橋を叩いても渡らない」方もいらっしゃると思いますが、ご意見があれば書面等でいただければ幸いです。

昨今の社会問題の一つとして「人口の少子化・高齢化」の件があります。若年層の未婚・晩婚、結婚しても子供を 2 人以上産まない。産もうと思っても、それを支える社会環境が整っていない。高齢者の平均寿命(余命)がどんどん伸びていく。結果として国の人口と、なかでも社会を支える働き盛りの割合が減少し、子供や高齢者への社会保障制度が維持できなくなるという心配です。既に様々な統計予測で、将来は働き盛り一人がそれぞれ一人以上の高齢者を支えなくてはなくなるという悲観的な見方も出ております。

直接的な対策としては子供を沢山産むことですが、効果が表れるのは何十年か先になります。そのため即効性のある対策としては、人口構成の現状を肯定したうえで、社会構造を大きく変えなくてはなりません。定年の延長、AI 等を駆使した省力化による産業構造の改革、高齢者の健康寿命の伸長促進の実践など、いろいろなことが考えられます。

ミクロなことになりますが、上記の影響として我がクラブの会員数の伸び悩み・高齢化、「新入会員キャンペーン」の難しさなどがあるというのは、我田引水の屁理屈にすぎないでしょうか。

本年度も社会構造の変革に対応して、会員の皆様におかれても柔軟な考えで、様々な活動やイベントに参加いただき、じゃおクラブの活性化が図られることを願っております。

じゃおクラブの基本方針

魅力的な地域交流と連帯の形成

血縁でも社縁でもなく、自発的で共感しうる“交流の場”を地域社会に形成するとともに、高齢社会のなかで互いに心から支えあえるよう、“連帯の輪”を広げることがをめざします。

地域社会づくりへの参画

産業社会優先のためにこれまで疎遠だった地域社会を、男性の視点から見つめなおすと共に、“より豊かな市民社会”を築くことに、男女共同して参画することをめざします。

- 中高年男性の団体です。
- 名刺交換はいたしません。
- 肩書き、前職など関係ありません。

第1号議案 2022年度活動報告

I. 組織運営

1. 総会

2021年度のじゃおクラブ第31回通常総会は、3年ぶりに対面方式で開催すべく準備を進め、当日会場への会員の参加のご意向を伺いましたが、参加希望者が少なかったため、やむなく前年度と同様にオンラインによる議案説明会とWebアンケート方式（Eグループ会員）及び郵便（非Eグループ会員）による議決権行使により開催しました。

議案説明会は2022年5月7日（土）にオンラインで開催し、19名の会員が参加し、各議案の説明と質疑応答が行われました。

議決権行使の結果、投票率は50.8%（63名）で、賛成多数で全議案が承認されました。

通常総会に先立つ2022年1月に、臨時総会を開催しました。これは前年度の通常総会のアンケートや質疑において指摘された「じゃおクラブ本部の運営・活動の見直し」の結果とそれに伴う会計関連の改定について、通常総会での今年度予算に反映させるため、予め会員の議決をいただくもので、通常総会と同様のオンラインによる議案説明会と、議決権行使方法で実施しました。

議案説明会は2022年1月23日（日）午後オンラインで開催し、24名の会員が参加し、議案説明と質疑応答が行われましたが、事前に各地域じゃおで検討されていたため、順調に進行しました。

議決権行使の結果、投票率は53.1%（68名）で、各議案は賛成多数で承認されました。

2. 運営委員会

本年度の運営委員会は、運営委員（8名）に加えて、監事（2名）の方にも出席して頂き、5月、7月、9月、11月、1月、3月の計6回開催しました。なお、今回も新型コロナウイルス感染防止のため、第一回（5月オルタ館）を除き全てオンラインで実施しました。第31回通常総会において会員から寄せられた意見・要望を受け、じゃおクラブ運営・活動の見直しに関して、地域じゃお会員の意見も確かめながら論議しました。主な協議事項は以下のとおりです。

- ① 新年度運営委員の業務分担について（本部オルタ館で実施）
- ② 新入会員入会促進キャンペーンの効果測定と継続の可否について
- ③ 個人情報保護法改定について
- ④ 2022年度じゃおクラブ十大ニュースについて
- ⑤ ホームページ及びチラシの改定について

3. 事務局

昨年につき、運営委員が本部事務局業務を分担して実行しています。本部業務を渉外・調整、総会、運営委員会、じゃおニュース・スケジュール表発行、会員管理、会計、ホームページ、に分け、それぞれに正・副担当者を決めて対応しています。会員動向や運営委員会の概要は、昨年につき毎月じゃおニュースの「事務局だより」に掲載しています。運営委員会の議事録はホームページの会員ページにも掲載しています。

II. 本部活動報告

1. じゃおニュースの発行

2022 年度も従来通り毎月発行しました。記事の数は以下の通りです。(括弧内は前年) 特に、活動報告記事の数は 46 本で前年の 84% 増でした。これは、コロナ禍を越えて活動が再開しつつあることの現れと思われる。しかし、コロナ禍以前の活動報告記事の数と比較すると、2017 年から 2019 年の平均 (67 本) の約 2/3 です。また、内容が工作教室やボランティア活動、周年行事に偏る傾向があるようです。特別寄稿が前年より多いのは県央の投稿を 7 カ月にわたって連載したことによります。

特別寄稿	会員だより	活動報告 合計 46 (25)			
		湘南	県央	ベイサイド	多摩・田園
9 (3)	43 (46)	5 (3)	14 (5)	8 (4)	19 (13)

掲載はおおよそ発行月の 4 日までが目標ですが、メール障害が原因で告知できなかった月を除き、概ね 1 日に発行できました。じゃおニュース関係者のご協力の賜物です。ありがとうございました。

なお、「じゃおクラブ十大ニュース」が復活しましたので 2023 年 1 月号で発表したほか、12 月号の「事務局だより」ではその年の物故者をご紹介します。

2. ホームページの運営

ホームページサークル (HP サークル) はコロナ禍対応のため、会議はオンラインにて実施しました。また、2022 年 8 月以降は会議の開催を隔月にしました。2022 年度の活動内容は以下の通りでした。

- ① 2021 年 10 月、本部サイト (トップページ) に設けたトピックス投稿の仕組み「お知らせ」を利用して合計 10 件の投稿を行いました。
- ② ホームページの記述を、最近のじゃおクラブの活動実態に揃えるための改訂を実施しました。同時に本部のチラシを改訂し、ホームページとチラシの記述に一貫性を持たせました。
- ③ 2022 年 4 月頃から不正アクセスによる侵入の試みが急増し、現在も続いています。パスワード管理の徹底、強力なパスワード保護、既知の不正ログイン試行アカウントの接続拒否、連続してパスワードを間違えた際の接続拒否などの対策で防いでいます。現在の対策の徹底を図ります。
- ④ 活動を休止した行事の削除、写真の入れ替え、記述の変更などを実施しました。

3. じゃお E グループの運営

3 月末時点でじゃおクラブ会員 132 名のうち 118 名 (89.4%) が E グループ参加会員で、年度内に発信されたグループメールの件数は、合計で 48 件でした。

メールアドレスを持っている会員は殆ど E グループに参加しています。

4. 新規会員入会促進キャンペーンの実績と課題

今年度の入会者は 10 名と昨年度から倍増しました。入会のきっかけごとの人数と平均年齢は、会員紹介：2 名・78 歳、掲示板・チラシ：3 名・71 歳、行事による勧誘：3 名・66 歳、公共機関からの紹介：2 名・70 歳となっており、年金受給開始年齢引き上げの影響が見えます。また、65 歳以降の過ごし方模索の様子が行事への参加や公共機関からの紹介に表れています。このことから「半現役」のシニア層への勧誘が効果的と思われる。

III. 他団体との交流

1. 生活クラブ関連の行事

① ふくしまつり

6月6日(日)に金沢八景の「姫の島公園」で万華鏡、紙とんぼ、CDこま等の「手作りの子ども遊び」工作コーナーを開催予定でしたが、コロナ禍のため中止となりました。(ベイサイド担当)

② エッコロ共済

「子育て講座」で「手作りのこどもの遊び」の製作教室に指導講師を派遣しました。

5月15日(日)横浜みなみ commons・横浜北 commons

③ オルタ館フェスタ

11月5日(土) コロナ禍のため規模を縮小して開催。「手作りの子どもの遊び(万華鏡・紙トンボ・CDこま)」の工作コーナーで参加しました。(ベイサイド担当)

2. その他の団体

特にありません。

IV. 会員動向

1. 会員数の推移

年度	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
入会人数	94	29	20	10	24	21	18	15	15
退会人数		5	20	29	19	10	19	18	11
年度末在籍者計	94	118	118	99	104	115	114	111	115
年度	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
入会人数	47	27	17	11	5	17	12	4	4
退会人数	11	15	17	17	16	18	4	16	11
年度末在籍者	151	163	163	157	146	145	153	141	134
年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
入会人数	35	25	16	10	6	19	12	4	13
退会人数	15	16	18	22	9	8	8	13	7
年度末在籍者	154	163	161	149	146	157	161	152	158
年度	2018	2019	2020	2021	2022				
入会人数	7	11	5	5	10				
退会人数	14	16	13	18	3				
年度末在籍者	151	146	138	125	132				

注：年度末の退会者は、年度末の在籍人数に含め、翌年度の退会人数としてカウントする。

2. 地域別会員数（年度末在籍者）

地域	川崎	横浜北	横浜南	湘南	県央	県外	計
1997年度	8	27	19	32	29	0	114
1998年度	7	28	15	33	26	2	111
1999年度	7	29	12	37	26	4	115
地域	田園(川崎)	田園(横浜)	横浜南	湘南	県央	東京	計
2000年度	26	29	21	43	26	6	151
2001年度	26	29	20	52	29	7	163
地域	田園	ベイサイド	南多摩	湘南	県央	東京	計
2002年度	53	17	11	51	29	3	163
2003年度	50	21	9	50	24	3	157
2004年度	46	22		50	24	4	146
2005年度	46	21		50	24	4	145
2006年度	45	22		53	27	6	153
2007年度	39	21		47	27	7	141
2008年度	36	18		45	27	8	135
2009年度	44	17		48	32	13	154
2010年度	45	18	15	44	36	5	163
2011年度	38	19	18	45	36	5	161
2012年度	26	19	21	43	36	4	149
2013年度	22	20	22	42	36	4	146
2014年度	21	24	23	43	44	2	157
2015年度	20	24	29	42	44	2	161
2016年度	17	24	27	41	42	1	152
2017年度	16	24	27	47	43	(静岡) 1	158
地域		ベイサイド	多摩・田園	湘南	県央	その他	計
2018年度		32	33	45	41	0	151
2019年度		32	34	43	37	0	146
2020年度		33	30	39	36	0	138
2021年度		32	28	36	29	0	125
2022年度		31	29	38	34	0	132

第 2 号議案 2022 年度決算報告および監査報告

(2022年4月1日～2023年3月31日)

収入の部

単位：円

科目	予算額	実績額	摘要
年会費	492,000	484,000	
総会会費	30,000	0	
事業収入 (じゃおサロン)	0	0	
雑収入	5	3	利息
小計	522,005	484,003	
前年度繰越金	477,395	477,395	
合計	999,400	961,398	

支出の部

単位：円

科目	予算額	実績額	摘要
事務局費	30,000	23,195	
会議費	0	10,770	
通信費	35,000	34,625	
広報費 (会報・じゃおニュース・ホームページ)	43,000	0	
総会費	40,000	3,703	
事業活動費	0	0	
じゃおサロン	0	0	
地域じゃお助成金	0	0	
地域じゃお活動費	372,000	349,250	
他団体交流費	10,000	0	
賃借料	12,000	23,092	
雑費	1,000	1,705	
繰越金の地域分配金	0	0	
予備費	10,000	0	
小計	553,000	446,340	
繰越金	446,400	515,058	
合計	999,400	961,398	

繰越金残高

単位：円

資産	金額	内訳
現金	46,751	
横浜銀行普通預金	241,911	
ゆうちょ銀行振替貯金	226,396	
事務室賃借保証金	0	
合計	515,058	

前記の通り報告します。

※ 会計と監事 2 名が捺印した書類を別途保管しています。

2023年4月1日

会計 石井 武則

前記の決算報告を監査承認します。

2023年4月1日

監事 島村 忠男

監事 土屋 佳一

第3号議案 2023年度活動方針および活動計画

I. 活動方針

本年度も「じゃおクラブの基本方針」に沿った活動を心がけます。

1. 2023年度活動の基本

2022年度から、いわゆる本部の運営・活動が見直され、本部主催の諸活動を縮小し、また本部の多くの業務を「地域じゃお」に移管しました。これにより、従来にも増して「地域じゃお」を中心とした活動が基本となりましたが、特に大きな支障もなく推移しております。この「地域じゃお」中心の活動には、他地域の会員からも（いわゆる相互乗り入れとして）、従来にも増して活発な参加が望まれます。

3年以上にわたって我々の活動を制約した新型コロナウイルス禍は、共存の段階に入ったと考えられ、行政からも「ウイズコロナ」の指針が示されています。この環境のもと、我々の活動もコロナ前に戻ってさらに活性化したいと考えます。

万一、また新たなウイルスの流行があった場合、行政から対策として何らかの宣言や指示が発令され、諸活動がこれに抵触する場合は、これらに積極的かつ柔軟に対応し、活動を中止や延期することに躊躇しません。また、可能な場合はオンラインでの開催を積極的に推進します。

2. 会員数の拡大

最近では会員の高齢化などで会員数は減少傾向が続いております。2022年度から会費も改定され、新規会員勧誘時のネックの一つに対してはハードルが下げられたと思います。新規会員の獲得は組織の若返りと不可分で、組織の活性化を図るためには喫緊の課題です。しかし最近はいわゆる「働き方改革」の影響もあり、そのターゲットはリタイア後やリタイア間近の方々だけでは大変難しくなっています。定年延長などによる「半現役」のシニア層も対象に、今年度も新規会員獲得活動を重点課題として更に活性化します。

昨年度の実績からは、社会福祉関係をはじめとした「官」とのコネクションも大変有効なようです。会員諸氏の友人・知己への勧誘と合わせて、「官」の催しなどへも積極的に参加して、会員数の拡大を図ります。

3. オンラインの活用（活動のIT化）

コロナ禍に対抗する手段として採用したオンラインによる会合が、運営委員会や地域じゃおのイベントで活用され、相応の実績を積みました。オンラインにはその長所を活用できる場が多く考えられます。コロナ禍が去っても、その適性に依拠してオンラインを否定することは考えません。

この場合、約1割以上の会員が、パソコンやスマホなどを常用されていない、いわゆる「非Eグループ会員」のため、オンラインによる活動が不可能な環境下にあります。オンライン導入の一方で、非Eグループ会員に対し情報伝達の漏れや、活動参加意欲の低下などがないよう、常に留意することを忘れぬようにします。

II. 本部の活動計画

1. じゃおニュースの発行

じゃおニュースは会員相互の情報共有と対外的な広報活動に活用するよう定期発行しています。発行は、毎月初めとし、非Eグループ会員の皆さまへは、その後速やかに各地域じゃおから送付されます。「会員だより」は名簿順に寄稿して頂いておりますが、2023年秋に3巡目が終わる予定です。会員各位の活発な投稿をお待ちしております。

2. ホームページの運営（ホームページサークル）

ホームページの役割は従来と変わりません。一般の方々に対してじゃおクラブのことを伝える手段であり、会員に対する情報共有の道具です。制作・管理・運営は、地域ごとに、地域が、地域に合った形で行います。今後も2021年度に導入された「お知らせ」投稿を活用して、活動の告知やニュース、結果報告などを行います。また、必要に応じて勉強会を開催します。

3. じゃお E グループの運営

E グループはメールアドレスを持っている会員の殆どの方が参加しています。じゃおクラブの名簿は毎月更新されており、E グループの情報もいつも最新の状態になっています。じゃおクラブ全員に向けての案内は、是非 E グループの活用をお願いいたします。

投稿アドレスは jao-club@googlegroups.com です。このアドレスに投稿することで E グループ会員に配信されます。

III. 他団体との交流

1. 生活クラブ関連行事

① ふくしまつり

10月1日(日)開催予定。金沢区金沢八景 姫の島公園 (ベイサイド担当)

「手作りの子どもの遊び(万華鏡・紙とんぼ・CD こま)」工作コーナーに参加します。

② エッコロ共済

「子育て講座」で「手作りの子どもの遊び」製作教室で指導するため講師を派遣します。

機械的な遊びではなく、伝承してきた遊具を若い世代に伝えます。

③ オルタ館フェスタ

11月初旬の月曜日から土曜日に開催予定

期間中(土)のイベントでは「手作りの子どもの遊び」として伝統的な遊具(万華鏡・紙とんぼ・CD こま等)の工作コーナーに参加します。(ベイサイド担当)

2. その他の団体

特にありません。

第 4 号議案 2023 年度予算案

(2023年4月1日～2024年3月31日)

収入の部

単位：円

科目	前年度実績	予算額	摘要
年会費	484,000	520,000	年度初め会員数132名、(内1名は新入会員、2名は半額)
総会懇親会費	0	25,000	参加者25名として (会費1,000円)
雑収入	3	3	利息
小計	484,003	545,003	
前年度繰越金	477,395	515,058	
合計	961,398	1,060,061	

支出の部

単位：円

科目	前年度実績	予算額	摘要
事務局費	23,195	2,000	
会議費	10,770	11,000	運営委員会は1回分対面で計画
通信費	34,625	30,000	レンタルサーバ利用料、Zoom利用料、
広報費 (会報・ホームページ)	0	43,000	HPサークル施設使用料、参加者交通費(5回分)
総会費	3,703	33,000	施設利用料、懇親会飲食代、その他経費
事業活動費	0	0	じゃおサロン廃止のため
じゃおサロン	0	0	
地域じゃお助成金	0	0	
地域じゃお活動費	349,250	393,000	年度初め会員数1人当たり3,000円(新入会員1名分は除く)
他団体交流費	0	10,000	
賃借料	23,092	12,000	倉庫分
雑費	1,705	1,000	振込手数料
繰越金の地域分配金	0	0	
予備費	0	10,000	
小計	446,340	545,000	
繰越金	515,058	515,061	
合計	961,398	1,060,061	

第5号議案 新規会員入会支援策と実施に伴う会則改訂

新規入会時のハードルを下げ、会員を獲得しやすくするための施策として、2年にわたって「新規会員入会促進キャンペーン」を実施しました。「新規会員入会促進キャンペーン」のうち、入会初年度の会費無料施策は入会を後押しする効果があったと思われます。一方、会員の紹介による入会は2年間で4名であり、効果は限定的であったと思われます。この結果に基づき、新しい「新規会員入会支援策」を提案致します。この支援策が会員獲得に資することを願っています。

1. 新規会員入会支援策

- ① 2023年度より、恒久的に新規入会者の入会初年度（4月～3月）の会費を無料にすることを提案します。実施に伴い会則第6条と会計に関する規約第1条を改定します。（詳しくは後述）なお、再入会の会員はこの制度の対象にはなりません。
- ② これまでの「新規会員入会促進キャンペーン」は2023年3月末で終了します。これにより「会員が新規会員を紹介した際の紹介者に対する会費減額」は廃止となります。

2. 2021年度実績

5名（湘南1名、県央1名、多摩・田園3名）が入会しました。内訳は、会員の紹介が2名、「タウンニュースを見て」が2名、再入会が1名でした。タウンニュースがきっかけで入会した2名は数か月で退会しましたので、2021年度の効果は限定的と判断しました。なお、再入会はキャンペーン対象外です。

3. 2022年度実績

10名（湘南3名、県央5名、多摩・田園2名）が入会しました。入会のきっかけは以下の通りであり、会員募集は公的機関と連携した会員募集イベント、公民館などへのチラシの配架、ホームページの活動紹介、行事体験などが連動した場合に効果を発揮すると思われます。

入会のきっかけ	人数	備考
チラシやホームページを見て	3	公的機関掲示のチラシ（県央）、HP（多摩・田園）
公的機関の紹介	2	公民館（湘南）、ボランティアセンター（多摩・田園）
会員募集イベント	2	地域活動見本市（湘南）
会員の紹介	2	2名とも県央
行事を体験して	3	農園を体験（湘南）、蕎麦打ち（県央）

※ 参加人数は、複数のきっかけが関係するので入会人数を超えます。

※ 行事体験は、会員募集イベントなどで、じゃおクラブを知った方が参加される場合が多い。

会則改訂案（該当箇所のみ）

現在	改訂案
第6条 入会申込書の提出と年会費の納入をもって会員の資格を得る。年会費については別に定める。	第6条 入会申込書が提出された後（電子メール等を含む）、地域じゃおが入会希望者と面接するなどして確認した後に会員の資格を得る。年会費については別に定める。
<p>会計に関する規約 （年会費）</p> <p>第1条「じゃおクラブ」会則6条（入会）にもとづき、年会費を以下に定める。 年会費：4000円</p> <p>ただし、活動年度途中に入会する場合は、その活動年度の残りの月数に300円を乗じた金額を年会費として納めるものとする。また、既納の入会金、会費は返還しない。 会費は6月末までに納入するものとする。</p>	<p>会計に関する規約 （年会費）</p> <p>第1条「じゃおクラブ」会則6条（入会）にもとづき、年会費を以下に定める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 年会費は4000円とする。 2. 新規入会の場合は入会初年度（4月～3月）の年会費を免除する。 3. 再入会の場合は、その活動年度の残りの月数に300円を乗じた金額を年会費として納めるものとする。 4. 既納の年会費は返還しない。 5. 年会費は6月末までに納入するものとする。

第6号議案 2023年度役員選出案

会則第9条の規定により運営委員と監事の立候補者を募ったところ、次の方々が立候補されました。

運営委員立候補者（五十音順）

No	氏名	区分	No	氏名	区分
1	いしい たけのり 石井 武則（多摩・田園：町田市）	継続	6	ながい しせい 永井 志成（湘南：藤沢市）	継続
2	おおさわ てるゆき 大澤 輝之（ベイサイド：横浜市）	継続	7	ふくやま しんじ 福山 信二（県央：海老名市）	継続
3	かわむら かずお 川村 和雄（県央：座間市）	新任	8	ますこ ひろし 増子 寛（ベイサイド：横浜市）	新任
4	たかはし たかし 高橋 孝（多摩・田園：町田市）	継続	9	やすだ けんじ 安田 賢二（湘南：藤沢市）	継続
5	たけうち じゅんいち 竹内 純一（多摩・田園：町田市）	継続			

監事立候補者（五十音順）

No	氏名	区分	No	氏名	区分
1	しまむら ただお 島村 忠男（湘南：藤沢市）	継続	2	つちや よしかず 土屋 佳一（ベイサイド：横浜市）	継続